

学校版スクリーニングシステム YOSS活用事例報告会

— 「チーム学校」を実現するために —

スクリーニングシステムは、児童虐待、いじめ、貧困の問題など表面化しにくい問題の早期発見、早期に対応できる組織作りであり、習慣的に行えるようになる補助システムです。教員にとっては児童生徒理解が深まり、抱え込みの解消、チーム力の向上につながります。文部科学省では、本研究室で取り組んできた自治体との取り組みに着目し、コロナ禍において見えない課題への早期対応のために全国に広めるべく通知文を令和2年3月と5月に発出しました。現在、約30自治体との契約により、スクリーニング事業が行われており、スクリーニング活用を希望する自治体職員やスクールソーシャルワーカー（SSW）が増えてきています。

どんな手順で事業を進めていけばいいのか、またどのようにスクリーニング会議を行っていけばいいのか、など事例の中から何かヒントを得ていただきたくこのような会を実施することとなりました。みなさまのご参加をお待ちしております。 ※YOSS=Yamano Osaka Screening System

2022年 9月25日(日)
13:30-16:30

(受付開始13:00)

内容

- ◆ スクリーニングの意義 山野則子
 - ・ 子どもの課題と学校の現状から子どもを思う教師やSSWにとってなぜスクリーニングなのか。今後の展開予定について。
- ◆ 子ども家庭庁（準備室）より報告
 - ・ 国の動き（デジタル関連ほか）
- ◆ 取組事例報告（予定）
 - ① 糸満市（実施校の立場から）
報告者：糸満市教育委員会
指導主事 當山誠氏（元西崎小学校）
 - ② 奈義町（教育委員会の立場から）
報告者：奈義町教育委員会
教育指導参事 近藤健二氏
- ※ リレーコメント（広域自治体、先進地等）
（大阪府教育庁、尼崎市SSW、福祉部門ほか）
- ◆ グループワーク
 - ・ どうやって進めるの？教師やSSWの役割は？

* 会の終了後、導入を検討されている自治体様の個別相談会も開催します。事前にご予約をいただけますと幸いです。

対象

- 教育委員会等自治体職員
- スクールソーシャルワーカー
- 学校教職員 等

同日午前10時～
「協働型評価プロジェクト」
無料試行実施への参画自治体募集
説明会も開催します！（オンライン）

お問合せ・お申込先：大阪公立大学現代システム科学研究科 山野則子研究室

gr-kyik-ebssw@omu.ac.jp（担当：木下） 申込締切：9月9日（金）

※ お名前・ご所属・スクリーニング活用有無を明記してください。

また、「午前のみ参加」「午後のみ参加」「午前・午後両方参加」のいずれかをご明記ください。



主催：大阪公立大学 スクールソーシャルワーク評価支援研究所
後援：一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟、
日本学校ソーシャルワーク学会、大阪府教育委員会

※ 本取組は、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）社会技術研究開発センター（RISTEX）より支援を受けた「SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム（社会的孤立・孤独の予防と多様な社会的ネットワークの構築）」研究開発プロジェクト「すべての子どもの社会的孤立・孤独・排除を予防する学校を中心としたシステムの開発」の助成にて実施するものです。